

研究構想シート		学校名	出雲市立斐川西中学校
		氏名	吾郷 美穂
A 研究主題		意欲的に学びに向かい、自ら課題を解決しようとする生徒の育成 ～主体的・対話的で深い学びを通して～	
B 研究の目的		主体的・対話的で深い学びを通して、学んだ知識及び技能を活用し、課題を解決することができる思考力・判断力・表現力の育成を目指す	
C 子どもの実態 (強み) ・各学級とも落ち着いた態度、雰囲気 で授業が展開されている。 ・与えられた課題にじっくりと取り組む 生徒が多い。 ・ペアやグループで話し合いや教え 合いができる。 (弱み) ・反復練習などを嫌がる生徒が少 なくないため、力が定着しづら い。 ・特定の生徒のみの発言が目立 つ。 ・頭の中で考えたことを、学習単 語を含む言葉や図を用いて説明す る力に課題がある。 ・自己主張が苦手な生徒が多く、 発言や発表が少ない。	E 手立て・内容(研究仮説) 各教科等の特質に応じた「見方・考え方」を働かせながら、生徒と教師、生徒同 士、生徒と教材をつなぐ場面や学習課題を工夫することで、自ら学ぼうとする意欲が 高まり、課題を解決する力や確かな学力を身につけた生徒が育つであろう。	D めざす子どもの姿 1 意欲的に学びに向かい、自ら 課題を解決しようとする生徒 (1)各教科などの学習に興味や関心 をもち、見通しをもって自ら学ぶ 生徒 (2)獲得した知識や技能を活用し て、課題を解決する生徒 (3)自ら課題を見つけ、課題の解決 に向かって試行錯誤を重ねる生徒 2 主体的・対話的で深い学びが できる生徒 (1)生徒同士の共働、教師との対話 等を通じ、自分の考えを広げ深め る生徒 (2)各教科等の特質に応じた「見 方・考え方を働かせながら、理解 したり考えを形成したりする生徒	
	F 検証方法 1 学力調査の結果 2 学校評価の結果		
	G 研究計画 1 豊かな学び合いをする学習集団をつくる。 (1)「学習の約束」の徹底 (2)ペア・グループ学習の意義や目的の共通理解 (3)ペア・グループ学習を取り入れる場面や進め方の工夫 (4)学校行事や学級活動等を通じた集団づくり 2 自ら学び課題を解決する生徒の育成 (1)各教科の特質に応じた「見方・考え方」を働かせた学習過程や課題の設定 (2)問題解決的な学習の流れを意識した授業の展開 3 出雲市がすすめる「めあてと振り返りを意識した授業スタンダード」の活用 4 タブレット端末等ICT機器を活用した授業づくり 5 家庭学習の質と量の充実		